

羽島市高齢者等実態調査 結果報告（要約）

● 調査の目的

「第10期羽島市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定あたり、地域の課題や市内の高齢者、在宅介護者、介護支援専門員の要望等を把握すること。

● 調査期間・方法

令和7年12月1日～令和7年12月25日

郵送による配布、郵送・WEB併用回収

● 調査の対象及び回答状況（全体）

【回答状況】

区分	配布数 (件)	回答数 (件)	回答率 (%)
(1)ニーズ調査	1,500	1,025	68.3
(2)在宅介護実態調査	1,000	529	52.9
(3)介護支援専門員実態調査	63	63	100.0
合計	3,750	2,144	57.2

【各調査の対象】

- (1)市内に居住する65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない方、及び要支援認定者（要支援1・要支援2の方）、事業対象者の方
- (2)要介護認定者及び主な介護者を対象
- (3)市内の居宅介護（介護予防）支援事業所の介護支援専門員

● 各調査の結果概要

(1)ニーズ調査

高齢者のみ世帯が多く、移動手段の確保や社会参加を通じたフレイル予防、ならびに地域での見守り体制の強化が求められる傾向がある。

(2)在宅介護実態調査

介護者の高齢化による「老老介護」や、働きながら介護を担う層の負担増大が課題となっており、夜間の排泄対応や認知症ケアに対する支援強化が必要と考えられる。

(3)介護支援専門員実態調査

訪問介護やショートステイにおける人手不足による受け入れ困難が顕在化している。